



ほりかね道

狭山市立堀兼中学校便り
令和7年度3月号
発行者 和田 雅士

堀兼中生の人間性を高める3月の行動目標

「凛として、清潔感のある身なりを整える(好感の持てる着こなし)」【落ち着いた行動ができる】

志や夢が膨らむ春に！

3月になりました。惜別、旅立ちの月です。会者定離(会うは別れの始め)と言われますが、「別れは出会いの始まり」とも言われます。別れは悲しい、でも自分を見つめ直し、新しい人や環境に出会うためのステップと前向きに捉えることができます。堀中の生徒たちは、これから幾度の「別れ」を経験し、幾度の「出会い」を喜ぶのでしょうか。転職がキャリアアップの糧となる今の時代では、多くの出会いと別れがあるのでしょうか。いずれにせよ、別れと出会いは人を成長させ、人生を豊かにするものだと思えます。

別れと出会いのこの時期は、人は承認欲求が一層高くなる時期でもあります。自己のネガティブな部分を払拭し、新たな自己を形成したい、つまり「また頑張ってみよう」と思う時期です。生徒も同じです。4月からの新しい出会いと環境を前向きに捉え、志や夢を膨らませている時節です。大人は、そんな子どもたちの思いを大切にして、成熟した大人の目で子どもたちを見守りたいですね。

学校関係者評価より(学校運営協議会)

令和7年度の学校自己評価と生徒及び保護者アンケートの結果を踏まえ、学校運営協議会の7名の委員に学校関係者評価をしていただきました。詳細は後日 HP に掲載しますが、主な意見についてご紹介します。

- 品性を磨くという目標を生徒さんが常に目にする廊下に大きく掲示されていたり、先生と生徒の皆さんが学校の目標を心に置きながら毎日を過ごせる環境が整えられていたりして感じました。
- 生徒が楽しく学校生活を送れるよう先生方が一丸となって取り組んでいることが伝わってくる。
- 多様な生徒の個性に合わせて、進路や日頃の学校生活に対して個別に話し合う時間を持ち、丁寧な指導がなされている。
- 授業中に男女関係なく仲良くコミュニケーションをとりながら、積極的に勉強に取り組んでいる様子から、安心安全な学びの環境が整っていることがうかがえる。
- 設備の修繕や充実については、限られた予算の中でも、優先度の高いところから適切に改善がなされている。
- 「生徒は学校生活が楽しいと感じている」が基礎となり、他の項目につながると感じています。生徒自身の評価が高いこと、また、各学年がそれぞれ昨年より評価が上がっていることは、学校生活に慣れるにしたがって楽しく感じてきているということであり、先生方のご尽力の賜物だと感謝しております。実際に、学校に行った際も、生徒の楽しそうな雰囲気、また、先生方の生徒に対する気配りや、教育活動に対する取り組みはいろいろな場面で感じています。
- 日々積極的に投稿頂いているお便りやお知らせを拝見し、堀中について知ることができています。部活動大会や各種コンクールでの受賞、ボランティアの様子など皆さんのご活躍をたくさん拝見できるのでとても良い媒体と感じます。
- 新狭山地区や堀兼地区それぞれの地域イベントへ、多くの生徒たちがボランティアで運営のお手伝いに参加しており、地域と中学生のつながりが増している。
- 地域の職業を学ぶ授業や、側溝清掃などで、地域を知る機会や、地域の方々と接する機会を持てている。

- ★「組織機能の活性化」に対して学校側が考えている部分での B 評価であり、先生方の個々の努力は感じられているようですので、組織をまとめる・・・となるとなかなか難しいこととは思われますが、課題としてあげている「活性化」について今後に期待したいと思います。
- ★学校の設定については、書かれているように学校側では対応しきれないこともあります、生徒が授業に集中できる環境は整えてあげるべきではと思います。
- ★「授業がわかる」生徒を100%にするよりも、「授業についていけないと感じる」と思う生徒数を0%に・・・と考えることの方が私個人的には、学校側が考えて欲しいと思います。
- ★今年度は、LGBTQ に関する講演や、卒業生による音楽演奏など、さまざまなことを体験できる機会が多かったと思います。体験できる学習は、これからの生徒の成長の糧となると考えていますので、体験し、思考し、自分の考えを伝える機会が多くあることを望みます。
- ★社会人の基本として「あいさつ」や、目上の人や先輩などに対しての「言葉遣い」は良い物・高い物を持っていれば、相手を不愉快にせず、社会に出た時に、自分にとっての武器となることは間違いのないことであることを生徒に訴え続けることが、必要であると思われます。もちろん、日頃より先生方もお話はしていると思いますが、社会的な・・・となった時は、外部の方からチョット話をする方が生徒には入りやすいような気がします。
- ★「保護者や地域の関心を高められる工夫」については、やはり地域の協力が必要と思われます。幸い堀中の生徒は、ボランティア活動など地域へ積極的に参加している為、保護者の目も地域に向いていくと思われます。
- ★全ての人が納得のいく答えは得られないが、学校側も学校側の考えを変えずに進めて欲しいと思っています。

堀中生の活躍

あいさつ運動（小学校で）

生徒会本部役員と学級委員、生活安全委員が、新狭山小学校と堀兼小学校で 2 日間ずつ、朝のあいさつ運動を実施しました。中学生のあいさつに快活にあいさつを返してくれる小学生が増えました。

第79回卒業証書授与式

3月の生活目標

- 感謝の気持ちを伝えよう
- 一年間の復習をしよう
- 凛として清潔感のある身なりを整える

3月の主な行事予定

[illegible]

第34回吹奏楽部定期演奏会

生徒の皆さんへ

3月は学校の1年間を振り返り、4月からの新しい世界(環境)に向けて、心と身体を調える月です。
良かったこと、思い通りにならなかったことを含めて自分自身を受け容れ、前向きになれるエネルギーをためてください。